

HFX

2成分製品の安全性情報

発行日 23/11/2015

改訂日 23/11/2015

優先日 07/04/2015

バージョン 8.1

項目 1: キットD

1.1 製品特定名

製品名

HFX



製品コード

BU Anchor

1.2 Details of the supplier of the Safety information for 2-Component-products

日本ヒルティ株式会社

神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南-6-20

224-8550 〒 - 日本

T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418

hiltijapan@hilti.com

項目 2: 一般事項

保管

保管温度 5 - 25 °C

これらの各コンポーネントにつき安全データシート1枚が付属しています。この表紙ページからコンポーネント安全データシートを切り離さないでください

本キットは適切な試験手順に従って取り扱い、適切な保護具を使用してください

項目 3: キット内容

製品分類

GHS分類

Skin Irrit. 2	H315
Eye Irrit. 2	H319
Skin Sens. 1	H317
Repr. 1B	H360
Aquatic Acute 1	H400
Aquatic Chronic 3	H412

ラベル要素

国連GHSに準ずる分類

絵表示 (GHS-JP)



GHS07



GHS08



GHS09

注意喚起語 (GHS-JP)

危険

危険な含有物質

メタクリレート, 亜鉛ジベンゾイル, ホウ酸

危険有害性情報 (GHS-JP)

H315 - 皮膚刺激
 H317 - アレルギー性皮膚反応を起すおそれ
 H319 - 強い眼刺激
 H360 - 生殖能力や出生への悪影響のおそれ
 H410 - 長期継続曝露によって水生生物に非常に強い毒性

HFX

2成分製品の安全性情報

注意書き(GHS-JP)

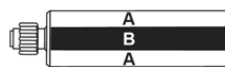
P262 - 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 P280 - 保護眼鏡、保護服、適切な保護手袋を着用すること。
 P305+P351+P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P302+P352 - 皮膚についた場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
 P333+P313 - 皮膚刺激または発疹（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P337+P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

補足的な情報

プラスチック製カートリッジの内容容：

メタクリル酸樹脂、無機充填剤

ジベンジルペロキシド、銅はしみ



名前	General description	量	Unit	GHS分類
HFX, A		1	pcs (pieces)	Skin Irrit. 2, H315 Eye Irrit. 2, H319 Skin Sens. 1, H317 Repr. 1B, H360 Aquatic Chronic 3, H412
HFX, B		1	pcs (pieces)	Skin Sens. 1, H317 Aquatic Acute 1, H400

項目 4: General advice

General advice

For professional users only

項目 5: 取扱いの指針

環境に対する注意事項

下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
 液が下水道や公共用水域で流入した場合、行政に報告する。

安全な保管条件

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全取扱注意事項

個人用保護具を着用する。
 皮膚、眼との接触を避ける。
 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。
 作業エリアでは十分な換気を行い、蒸気の発生を予防する。

浄化方法

本物質およびその容器は各自自治体の規定に準拠して安全に廃棄する。
 他の物質から離して保管すること。

封じ込め方法

漏出物を回収すること。

混触禁止物質

発火源
 直射日光

混触禁止製品

強塩基
 強酸

項目 6: 応急措置

眼に入った場合

Rinse immediately with plenty of water
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 痛みが持続する場合は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。
 水を大量に飲ませる。
 医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

HFX

2成分製品の安全性情報

皮膚に付着した場合	新鮮な空気を吸入させる。 被災者を休息させる。 多量の水で洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合： 医師の診断/手当てを受けること。
応急措置 一般	被災者に意識がない場合は、口から何も与えておかない。 気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。
症状 損傷 眼に入った場合	強い眼刺激
症状 損傷 皮膚に付着した場合	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

項目 7: 火災時の措置

消火方法	水霧や霧水で熱をさらされれば容器を冷却する。 化学物質の消火活動は慎重に行う。 消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。
消火時の保護具	呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
火災時の危険有害生分解生成物	熱分解により次のものを生成する： 二酸化炭素 一酸化炭素

項目 8: その他の情報

データなし

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

発行日:2015年11月23日 改訂日:2015年11月23日 優先日:2015年04月07日 バージョン:8.1

項目 1: 物質/混合物及び会社情報

1.1. 製品特定名

名前 HFX, B
製品コード BU Anchor

1.2. 物質または混合物について、特定された関連用途 および推奨できない用途

情報なし

1.3. 安全データシートを提供する供給業者の詳細

仕入先 日本ヒルティ株式会社 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20 224-8550 〒 - 日本 T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418 hiltijapan@hilti.com	安全データシート発行部門 Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH Hiltistrasse 6 86916 Kaufering - Deutschland T +49 8191 906310 - F +49 8191 90176310 anchor.hse@hilti.com
--	---

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 Schweizerisches Toxikologisches Informationszentrum – 24h Service
+41 44 251 51 51 (international)
+81 45 943 6211

項目 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質/混合物の分類

GHS分類
物理的危険性 自己発熱性化学品 区分外
有機過酸化物質 区分外
健康有害性 皮膚感作性 区分1
環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分1
分類区分およびHフレーズの全文については項目16を参照

2.2. ラベル要素

国連GHS(改訂4版、2011年)に準ずるラベル

絵表示(GHS-JP)



GHS07

GHS09

注意喚起語 (GHS-JP)

警告

危険有害性情報(GHS-JP)

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
水生生物に非常に強い毒性 (H400)

安全対策

保護眼鏡, 保護服, 適切な保護手袋を着用すること。 (P280)
眼、皮膚、衣類につけないこと。 (P262)

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338)
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 (P333+P313)
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 (P337+P313)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。 (P302+P352)

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

2.3. その他の危険

情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

3.1. 物質

非該当

3.2. 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号
			化審法番号	
過酸化ジベンゾイル	5 - 10%	C14H10O4	(3)-1349	94-36-0

危険有害性情報の全文: 第16項参照

項目 4: 応急措置

4.1. 応急処置対策

応急措置一般

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。新鮮な空気を吸入させる。被災者を休息させる。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合はお洗濯をすること。多量の水で洗うこと。皮膚刺激又は発疹(疹)が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の水ですすぐ。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。痛みや発赤が続く場合は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

口ですすぐこと。水を大量に飲ませる。医師の診断/手当てを受けること。無理に吐かせてはならない。直ちに医師の診察を受ける。

4.2. 最も重要な症状影響急性および遅延

症状損傷 皮膚に付着した場合

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

4.3. 医師による救急処置または特別な処置に関する注意事項

情報なし

項目 5: 火災時の措置

5.1. 消火剤

適した消火剤

水霧霧 二酸化炭素 乾粉粉末消火剤 泡消火剤 砂

使ってはいけない消火剤

強い水流は使用しない!

5.2. 物質または混合物に起因する、固有の有害性

情報なし

5.3. 消火活動を行う上での注意事項

消火方法

水霧霧や霧水で熱こさらされた容器を冷ます。化学物質の消火活動は慎重に行う。消火に使用した水の環境中に流出しないようにする。

消火時の保護具

自動呼吸器 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない!

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

項目 6: 漏出時の措置

6.1. 注意事項、保護具と緊急時処置

6.1.1. 非緊急対応者

応急処置 不要な職員を退避させる

6.1.2. 緊急対応者

保護具 指定された個人用保護具を使用すること。清掃職員に適切な保護具を支給する。
 応急処置 エリアを換気する

6.2. 環境に対する注意事項

下水道や公共水域への侵入を防ぐ。液が下水道や公共水域に流入した場合、行政に報告する。

6.3. 流出防止および清掃に使用する方法及び資材

封じ込め方法 漏出物を回収すること。
 浄化方法 本物質およびその容器は各自自治体の規定に準拠して安全に廃棄する。製品は機械的に回収する。他の物質から離して保管すること。
 その他の情報 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

項目 7: 取扱、及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項 個人用保護具を着用する。皮膚、眼との接触を避ける。
 飲食前、喫煙前、または作業終了後、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。
 作業エリアでは十分な換気を行い、蒸気の発生を予防する。
 衛生対策 この製品を使用するとき、飲食や喫煙をしないこと。製品取扱い後には必ず手を洗う。
 汚染された作業衣や作業靴から出さないこと。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。

7.2. 同所保管の危険性を考慮した、安全に保管するための条件

安全な保管条件 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
 混触禁止製品 強塩基、強酸
 混触禁止物質 発火源、直射日光
 保管温度 5 - 25 °C

項目 8: ばく露防止及び保健措置

8.1. 管理パラメーター

名前	管理濃度	許容濃度(産科学会)	許容濃度(ACGIH)
過剰ヒジベンゾイル			TWA 5 mg/m ³ , STEL -

8.2. ばく露防止- 危機管理対策

個人用保護具 不必要な暴露を避ける。安全メガネ、手袋、防護服



手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。
 眼の保護具 化学用ゴーグルまたは安全眼鏡。
 皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。
 環境への暴露の制限と監視 環境への放出を避けること。
 消費者の暴露の制限および監視 妊娠中や授乳期に接触を避けること。
 その他の情報 使用中は飲食禁止かつ喫煙

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

項目 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 物理的および化学的基礎物性に関するデータ

物理的状態	固体
外観	チキソトロピー性ペースト。
色	白色
臭い	特有の臭気
臭気閾値	未確定
pH	データなし
蒸発速度 (筒径φチル=1)	データなし
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	自然発火しない。
分解温度	データなし
燃焼性 (固体 気体)	不燃性
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度 (20 °C)	データなし
比重	データなし
密度	1.7 g/cm ³ AW 4.3.23
溶解度	水 Not miscible
n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	データなし
動粘性率	データなし
動的粘度	90 Pa.s HN-0333
爆発性	物質が爆発性ではない。
酸化性	データなし
爆発限界	データなし

9.2. その他の情報

情報なし

項目 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

情報なし

10.2. 化学的安定性

通常の条件下で安定

10.3. 危険有害反応可能性

情報なし

10.4. 避けるべき条件

直射日光 極度高温または低温

10.5. 混触危険物質

強酸 強塩基

10.6. 危険有害な分解生成物

ヒューム 一酸化炭素 二酸化炭素 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

項目 11: 有害性情報

11.1. 毒物学上の作用に関するデータ

急性毒性(経口) 未分類

過剰ヒンソイル(94-36-0)	
LD50 経口ラット	> 5000 mg/kg bodyweight (Rat; Equivalent or similar to OECD 401; Weight of evidence)

項目 12: 環境影響情報

12.1. 毒性

過剰ヒンソイル(94-36-0)	
LC50 魚1	2 mg/l (96 h; Poecilia reticulata)
EC50 ミジンコ1	0.07 mg/l
LC50 魚2	0.0602 mg/l (96h; Oncorhynchus mykiss; ECHA)
NOEC (急性)	0.0316 mg/l (96h; Oncorhynchus mykiss; ECHA)

12.2. 残留性・分解性

HFX, B	
残留性・分解性	決定していない!

過剰ヒンソイル(94-36-0)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water. No (test)data on mobility of the substance available.

12.3. 生体蓄積性

HFX, B	
生体蓄積性	決定していない!

過剰ヒンソイル(94-36-0)	
n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	3.71 (QSAR; 3.2; Experimental value; OECD 117: Partition Coefficient (n-octanol/water), HPLC method; 22 °C)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4).

12.4. 土壌中の移動性

情報なし

12.5. その他の有害な影響

その他の情報 環境への放出を避けること

項目 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄方法

地域の廃棄規則	管轄当局の規制に準拠して廃棄する
推奨廃棄方法	回収/リサイクル業に関する情報について製造業者/供給者に問い合わせること。内容物/容器を環境への放出を避けること。、回収/リサイクル業に関する情報について製造業者/供給者に問い合わせること。に廃棄すること
残余廃棄物	環境への放出を避けること

項目 14: 輸送上の注意

欧州部薬物輸送規則/欧州部薬物貨物輸送規則/国際海上部薬物規則/国際航空運送協会に準ずる。

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

ADR	IMDG	IATA	RID
14.1. 国連番号			
輸送規則の定義上危険物に該当しない。			
14.2. 品名			
非該当	非該当	非該当	非該当
14.3. 危険物輸送分類			
非該当	非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当	非該当
14.4. 容器等級			
非該当	非該当	非該当	非該当
14.5. 環境有害性			
環境有害性: はい	環境有害性: はい 海洋汚染物質: はい	環境有害性: はい	環境有害性: はい
ADR5.2.1.8.1の免除を適用 (液体量≤5リットルまたは固体の正味質量≤5kg)			
規制されていない。			

14.6. 使用者向け特別な安全対策

- 道路輸送

- 海上輸送

データなし

- 航空輸送

データなし

- 鉄道輸送

輸送禁止(RID)

いいえ

14.7. MARPOL 73/78 付属書I及びIBCコードによるばら積み輸送される液状物質

国内規制

その他の情報

規制されていない。

項目 15: 適用法令

15.1. 安全、健康、環境の保護に係わる規則、物質または混合物を対象とする個別法令規則

情報なし

項目 16: その他の情報

その他の情報

なし

H7フレーズ* のルテキスト:

Aquatic Acute 1	水生環境有害性(急性) 区分1
Eye Irrit. 2A	眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 区分2A
Org. Perox. B	有機過酸化物 タイプB
Org. Perox. Not classified	有機過酸化物 区分外
Skin Sens. 1	皮膚感作性 区分1

HFX, B

安全データシート

JIS Z 7253:2012

H241	熱すると火災又は爆発のおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319	強い眼刺激
H400	水生生物に非常に強い毒性

SDS_JP_Hilti

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に関する情報のみを、現在の知見に基づき記載するものであり、製品に関する何らかの特性を保証するものではありません。

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

発行日:2015年11月23日 改訂日:2015年11月23日 優先日:2015年04月07日 バージョン:8.1

項目 1: 物質/混合物及び会社情報

1.1. 製品特定名

名前 HFX, A
製品コード BU Anchor

1.2. 物質または混合物について、特定された関連用途 および推奨できない用途

情報なし

1.3. 安全データシートを提供する供給業者の詳細

仕入先 日本ヒルティ株式会社 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南-6-20 224-8550 〒 - 日本 T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418 hiltijapan@hilti.com	安全データシート発着部門 Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH Hiltistrasse 6 86916 Kaufering - Deutschland T +49 8191 906310 - F +49 8191 90176310 anchor.hse@hilti.com
---	---

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 Schweizerisches Toxikologisches Informationszentrum – 24h Service
+41 44 251 51 51 (international)
+81 45 943 6211

項目 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質/混合物の分類

GHS分類

健康有害性 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分2
眼に対する重篤な員刺激性又は眼刺激性 区分2
皮膚感作性 区分1
生殖毒性 区分1A
水生環境有害性(長期間) 区分3

環境有害性
分類区分およびHフレーズの全文については項目16を参照

2.2. ラベル要素

国連GHS(改訂版 2011年)に準ずるラベル

絵表示(GHS-JP)



GHS07

GHS08

注意喚起語 (GHS-JP)

危険

危険有害性情報(GHS-JP)

皮膚刺激 (H315)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
強い眼刺激 (H319)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく...を洗うこと。(P264)

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

応急措置

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
 環境への放出を避けること。(P273)
 保護眼鏡, 保護服, 適切な保護手袋を着用すること。(P280)
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。(P302+P352)
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313)
 特別な処置が必要である(このラベルの...を見よ)。(P321)
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P332+P313)
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P333+P313)
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P337+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管

施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物/容器を...に廃棄すること。(P501)

2.3. その他の危険

情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

3.1. 物質

非該当

3.2. 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号
			化審法番号	
メタクリル酸ヒドロキシプロピル	10 - 25%	C7H12O3	(2)-1044,(2)-958	27813-02-1
Bisphenol-A-diethoxy-methacrylate	5 - 10%	C27H32O6	(4)-917	24448-20-2
Tricyclodecane dimethanol dimethacrylate	2.5 - 5%	C20H28O4		43048-08-4
トリメタクリル酸トリメチロールプロパン	2.5 - 5%	C18H26O6	(2)-1062,(2)-769	3290-92-4
1,1'-(p-tolylimino)dipropan-2-ol	0.1 - 1%	C13H21NO2		38668-48-3
ホウ酸	0.1 - 1%	H3BO3	(1)-63	10043-35-3
4-tert-butylpyrocatechol	0.1 - 1%	C10H14O2	(3)-548	98-29-3

危険有害性情報全文: 第16項参照

項目 4: 応急措置

4.1. 応急処置対策

応急措置一般

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。

吸入した場合

空気の新鮮さが場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。新鮮な空気を吸入させる。被災者を休息させる。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。多量の水で洗うこと。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の水ですぐ、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。痛みや発赤が続く場合は医師の診察を受ける。

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。水を大量に飲ませる。医師の診断/手当てを受けること。無理に吐かせてはいけません。直ちに医師の診察を受ける。

4.2. 最も重要な症状影響急性および遅延

症状 損傷 皮膚に付着した場合 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

4.3. 医師による救急処置または特別な処置に関する注意事項

情報なし

項目 5: 火災時の措置

5.1. 消火剤

適した消火剤 水霧、二酸化炭素、乾粉粉末消火剤、泡消火剤、砂
使ってほならない消火剤 強い水流は避けてください

5.2. 物質または混合物に起因する、固有の有害性

情報なし

5.3. 消火活動を行う上での注意事項

消火方法 水霧や霧水で熱こらされた容器を冷ます。化学物質の消火活動は慎重に行う。消火に使用した水の環境中に流出しないようにする。
消火時の保護具 自給式呼吸器、呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

項目 6: 漏出時の措置

6.1. 注意事項、保護具と緊急時処置

6.1.1. 非緊急対応者

応急処置 不要な職員を退避させる。

6.1.2. 緊急対応者

保護具 指定された個人用保護具を使用すること。清掃職員に適切な保護具を支給する。
応急処置 エリアを換気する。

6.2. 環境に対する注意事項

下水道や公共用水域への流入を防ぐ。液漏り下水道や公共用水域に流入した場合、行政に報告する。

6.3. 流出防止および清掃に使用する方法及び資材

封じ込め方法 漏出物を回収すること
浄化方法 本物質およびその容器は各自の国の規定に従って安全に廃棄する。製品は機械的に回収する。他の物質から離して保管すること。
その他の情報 物質または副産物および汚染物質を廃棄する。

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項 個人用保護具を着用する。皮膚、眼との接触を避ける。
飲食前、喫煙前、または作業終了後、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。作業エリアでは十分な換気を行い、蒸気の発生を予防する。
衛生対策 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。製品取扱い後は必ず手を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

7.2. 同所保管の危険性を考慮した、安全に保管するための条件

安全な保管条件	涼しいところに置き、日光から遮断すること
避避禁止製品	強塩基 強酸
避避禁止物質	発火源 直射日光
保管温度	5 - 25 °C

項目 8: ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

名前	管理濃度	許容濃度(産科学会)	許容濃度(ACGIH)
ホウ酸			TWA 2 mg/m3 (l), STEL 6 mg/m3 (l)

8.2. ばく露防止 - 危機管理対策

個人用保護具 不必要な暴露を避ける。安全メガネ、手袋、防護服



手の保護具	適切な保護手袋を着用すること
眼の保護具	化学用ゴーグルまたは安全眼鏡
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する
環境への暴露の制限と監視	環境への放出を避けること
消費者の暴露の制限および監視	妊娠中/授乳期中/妊婦を避けること
その他の情報	使用中は飲食禁止かつ禁煙

項目 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 物理的および化学的基礎物性に関するデータ

物理的状態	固体
外観	チキソトロピー性ペースト
色	淡緑色
臭い	特有の臭気
臭気閾値	未確定
pH	データなし
蒸発速度 (標準バチル=1)	データなし
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	101 °C DIN 53213
自然発火温度	自然発火しない。
分解温度	データなし
燃焼性 (固体、気体)	不燃性
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度 (20 °C)	データなし
比重	データなし
密度	1.66 g/ml DIN 51757
溶解度	水 Not miscible
n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	データなし

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

動燃性率	データなし
動的粘度	80 Pa.s HN-0333
爆発性	物質が爆発性ではない
酸化性	データなし
爆発限界	データなし

9.2. その他の情報

情報なし

項目 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

情報なし

10.2. 化学的安定性

通常の条件下では安定

10.3. 危険有害反応可能性

情報なし

10.4. 避けるべき条件

直射日光 極度高温または低温

10.5. 混触物質

強酸 強塩基

10.6. 危険有害な分解生成物

ヒューム 一酸化炭素 二酸化炭素 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない

項目 11: 有害情報

11.1. 毒物学上の作用に関するデータ

急性毒性(経口) 未分類

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(27813-02-1)	
LD50 経口ラット	> 5000 mg/kg (Rat; OECD 401: Acute Oral Toxicity; Literature study; >=2000 mg/kg bodyweight; Rat; Experimental value)
LD50 経皮ウサギ	>= 5000 mg/kg bodyweight (Rabbit; Experimental value)
トリメタクリル酸トリメチロールプロパン(3290-92-4)	
LD50 経口ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮ラット	> 3000 mg/kg
1,1'-(p-tolylimino)dipropan-2-ol (38668-48-3)	
LD50 経口ラット	25 mg/kg
LD50 経皮ラット	> 2000 mg/kg
ホウ酸(10043-35-3)	
LD50 経口ラット	2660 mg/kg (Rat; OECD 401: Acute Oral Toxicity; Literature study; >2600 mg/kg bodyweight; Rat; Experimental value)
LD50 経口	3241 mg/kg
LD50 経皮ウサギ	> 2000 mg/kg Rabbit; Experimental value; FIFRA (40 CFR)
4-tert-butylpyrocatechol (98-29-3)	
LD50 経口ラット	815 mg/kg bodyweight (Rat; Lethal; ECHA)
LD50 経皮ラット	1331 mg/kg bodyweight (Rat; Lethal; ECHA)
LD50 経皮ウサギ	(Rabbit)

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

項目 12: 環境影響情報

12.1. 毒性

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(27813-02-1)	
LC50 魚1	493 mg/l (48 h; Leuciscus idus; GLP)
EC50 ミジンコ1	> 143 mg/l (48 h; Daphnia magna; GLP)
暴露限界 藻類1	> 97.2 mg/l (72 h; Pseudokirchneriella subcapitata; GLP)
暴露限界 藻類2	> 97.2 mg/l (72 h; Pseudokirchneriella subcapitata; GLP)
トリメタクリル酸トリメチロールプロパン(3290-92-4)	
LC50 魚1	2 mg/l
ErC50 (藻類)	3.88 mg/l
NOEC 魚慢性	0.138 mg/l
NOEC 甲殻類慢性	0.177 mg/l
1,1'-(p-tolylimino)dipropen-2-ol (38668-48-3)	
LC50 魚1	≈ 17 mg/l
LC50 他の水生生物1	245 mg/l
EC50 ミジンコ1	28.8 mg/l
NOEC (急性)	57.8 mg/l
ホウ酸(10043-35-3)	
LC50 魚1	447 mg/l
EC50 ミジンコ1	658 - 875 mg/l (48 h; Daphnia magna)
LC50 魚2	79 ppm (96 h; Salmo gairdneri (Oncorhynchus mykiss); Hard water)
EC50 ミジンコ2	19.7 mg/l (336 h; Daphnia magna)
TLM 魚1	1800 ppm (24 h; Gambusia affinis)
暴露限界 藻類1	5 mg/l (672 h; Elodea sp.)
暴露限界 藻類2	0.4 - 0.8, 336 h; Chlorella sp.; Growth
4-tert-butylpyrocatechol (98-29-3)	
LC50 魚1	0.12 mg/l (96 h, Danio rerio, Lethal, ECHA)
EC50 ミジンコ1	> µg/l

12.2. 残留性・分解性

HFX, A	
残留性・分解性	決定していません!
メタクリル酸ヒドロキシプロピル(27813-02-1)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water. No (test)data on mobility of the substance available.
ホウ酸(10043-35-3)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable. Biodegradability in soil: not applicable. No (test)data on mobility of the substance available.
生化学的酸素要求量(BOD)	Not applicable
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable
ThOD	Not applicable
BOD (ThODの割合)	Not applicable
4-tert-butylpyrocatechol (98-29-3)	
ThOD	2.4 g O ₂ /g substance

12.3. 生体蓄積性

HFX, A	
生体蓄積性	決定していません!
メタクリル酸ヒドロキシプロピル(27813-02-1)	
BCF 魚1	≤ 100 (Pisces)
BCF 魚2	3.2 (Pisces; QSAR)
n-オクタノール水分分配係数(Log Pow)	0.97 (OECD 102: Melting Point/Melting Range)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (BCF < 500).
トリメタクリル酸トリメチロールプロパン(3290-92-4)	
BCF 魚2	366 l/kg
n-オクタノール水分分配係数(Log Pow)	3.53
Log Kow	4.39
1,1'-(p-tolylimino)dipropen-2-ol (38668-48-3)	
BCF 魚1	≈

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

Log Kow	2.1
ホウ酸(10043-35-3)	
BCF 魚1	0 (Salmo gairdneri (Oncorhynchus mykiss); Chronic)
BCF 魚2	< 0.1 (60 days; Oncorhynchus tshawytscha; Fresh weight)
n-オクタノール分配係数(Log Pow)	-1.09 (Experimental value; EU Method A.8: Partition Coefficient; 22 °C)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (BCF < 500).
4-tert-butylpyrocatechol (98-29-3)	
n-オクタノール分配係数(Log Pow)	2.94 (Estimated value)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4).

12.4. 土壌中の移動性

ホウ酸(10043-35-3)	
土壌中の移動性	May be harmful to plant growth, blooming and fruit formation.

12.5. その他の有害な影響

その他の情報 環境への放出を避けること

項目 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄方法

地域の廃棄規則 管轄当局の規制に準拠して廃棄する
 推奨廃棄方法 回収/リサイクル業に関する情報について製造業者/供給者にお問い合わせのこと。内容物/容器を環境への放出を避けること。、回収/リサイクル業に関する情報について製造業者/供給者にお問い合わせのこと。
 残余廃棄物 環境への放出を避けること

項目 14: 輸送上の注意

欧州危険物鉄道輸送規則/欧州危険物道路輸送規則/国際海上危険物規則/国際航空運送協会に準ずる。

ADR	IMDG	IATA	RID
14.1. 国連番号			
輸送規則の定義上危険物に該当しない。			
14.2. 品名			
非該当	非該当	非該当	非該当
14.3. 危険物輸送分類			
非該当	非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当	非該当
14.4. 容器等級			
非該当	非該当	非該当	非該当
14.5. 環境有害性			
環境有害性: いいえ	環境有害性: いいえ 海洋汚染物質: いいえ	環境有害性: いいえ	環境有害性: いいえ
規制されていない。			

14.6. 使用者向け特別な安全対策

- 道路輸送

- 海上輸送

データなし

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012

- 航空輸送

データなし

- 鉄道輸送

輸送禁止(RID)

いいえ

14.7. MARPOL 73/78 付属書I 及びIBC コードによるばら積み輸送される液状物質

国内規制

その他の情報

規制されていません。

項目 15: 適用法令

15.1. 安全、健康、環境の保護に係る規則、物質または混合物を対象とする個別法令規則

情報なし

項目 16: その他の情報

その他の情報

なし

H7 レース[®] のルネキスト:

Acute Tox. 2 (Oral)	急性毒性(経口) 区分2
Acute Tox. 4 (Dermal)	急性毒性(経皮) 区分4
Acute Tox. 4 (Oral)	急性毒性(経口) 区分4
Acute Tox. 5 (Oral)	急性毒性(経口) 区分5
Acute Tox. Not classified (Oral)	急性毒性(経口) 区分外
Aquatic Acute 1	水生環境有害性(急性) 区分1
Aquatic Acute 2	水生環境有害性(急性) 区分2
Aquatic Acute 3	水生環境有害性(急性) 区分3
Aquatic Chronic 2	水生環境有害性(長期間) 区分2
Aquatic Chronic 3	水生環境有害性(長期間) 区分3
Eye Irrit. 2A	眼に対する重篤な損傷性又は刺激刺激性 区分2A
Flam. Liq. Not classified	引火性液体 区分外
Repr. 1B	生殖毒性 区分1B
Skin Corr. 1B	皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分1B
Skin Irrit. 2	皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分2
Skin Sens. 1	皮膚感作性 区分1
STOT SE 3	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
H300	飲み込むと生命に危険
H302	飲み込むと有害
H312	皮膚に接触すると有害
H314	重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319	強い眼刺激
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

SDS_JP_Hilti

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に關する情報のみを、現在の法規に基づき記載するものであり、製品に關する何らかの特性を保証するものではありません。

HFX, A

安全データシート

JIS Z 7253:2012
